

平成29年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	保育所等の利用者負担軽減に係るシステム改修に必要な経費			担当部局庁	子ども・子育て本部		作成責任者				
事業開始年度	平成27年度	事業終了(予定)年度	平成28年度	担当課室	子ども・子育て支援担当		竹林 経治				
会計区分	一般会計										
根拠法令 (具体的な条項も記載)				関係する計画、通知等	平成27年度子どものための教育・保育事業費補助金の国庫補助について(平成28年3月10日府子本第95号内閣総理大臣通知) 平成28年度子どものための教育・保育事業費補助金の国庫補助について(平成28年6月10日府子本第384号内閣総理大臣通知)						
主要政策・施策	少子化社会対策			主要経費	社会保障						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	この補助金は、市町村(特別区を含む。以下同じ。)が保育所等の利用者負担軽減に係るシステム改修等を実施することにより、利用者負担額の決定を円滑に処理でき、住民サービスの向上に資することを交付の目的とする。										
事業概要 (5行程度以内。別添可)	段階的な幼児教育無償化(保育所等の利用者負担軽減措置)を実施することに伴い、平成27年度に各市町村で構築した『制度管理システム(子ども・子育て支援新制度のために構築したシステム)』を改修することで、利用者負担額の決定が円滑に処理できるようにすることを目的に、必要な経費の一部補助するものである。 【実施主体】市町村(特別区を含む。) 【補助率】1/2(国:1/2 市町村1/2)										
実施方法	補助										
予算額・執行額 (単位:百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	-				
		補正予算	-	1,741	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	1,604	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	▲1,604	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-	-				
	計		0	137	1,604	0	0				
	執行額		-	134	701						
	執行率(%)		-	98%	44%						
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		#DIV/0!	8%	#DIV/0!						
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由						
					平成28年度末に事業終了						
	計		-	-							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度
	平成28年度末までに対象市町村(1,566市町村(交付決定数))のシステム改修を完了する。		システム改修を完了した市町村数(延べ) ※28年度末までのため、中間目標は設定せず。		成果実績	箇所数	-	419	1,566	-	1,566
					目標値	箇所数	-	1,566	1,566	-	1,566
					達成度	%	-	27	100	-	100
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載										チェック	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	事業実施市町村数(交付決定数)			活動実績	箇所数	-	983	583	-	-	
				当初見込み	箇所数	-	807	759	-	-	
単位当たり コスト	算出根拠				単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	執行額(X)÷事業完了市町村数(Y)			単位当たり コスト	百万円	-	0.3	0.6	-		
				計算式	X/Y	-	134/419	701/1147	-		

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	子ども・子育て支援新制度における利用者負担については、世帯の所得の状況その他の事情を勘案して市町村が定めることとされている。そのため、算定のためのシステム改修をしなければ、市町村の負担額決定事務が円滑に行えず、住民サービスの低下につながる恐れがある。また、改修費用を補助しなければ、市町村に過大なコストを負担させることになる。以上から、改修費用を補助することにより、市町村が円滑に業務を処理することができ、もって住民サービスの向上に資することから国民や社会のニーズを的確に反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	子ども・子育て支援法第3条第3項において、国は市町村及び都道府県と相互に連携を図りながら、子ども・子育て支援の提供体制の確保に関する施策その他の必要な各般の措置を講じることとされており、地方自治体が行う取組みに対し、国として補助するもの。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	システム改修を行わなければ、利用者負担額の算出が難しく、政策体系の中で優先度の高い幼児教育・保育・地域の子ども・子育て支援を総合的に推進するための「子ども・子育て支援新制度」にかかる事業の円滑な実施が阻害される恐れがあるため、政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	子ども・子育て支援法第3条第3項において、国は市町村及び都道府県と相互に連携を図りながら、子ども・子育て支援の提供体制の確保に関する施策その他の必要な各般の措置を講じることとされており、1/2としている受益者(市町村)の負担割合は妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	システム改修に必要な経費のみに限定しており、妥当であると考えている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	交付要綱において、対象経費を限定している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	交付申請額が予定を下回ったため。
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果目標を達成できている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	申請のあった全市町村でシステム改修をしており適正な活動実績である。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	利用者負担額の算定に必要なシステムであり、十分活用されている。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	所管府省名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	交付要綱において対象経費が明確に定められており、事業の進捗状況や成果物の活用等に問題はなく、所期の目的を達成した。	
	改善の方向性	事業目的を達成したため平成28年度で事業を終了する。	

外部有識者の所見

・「根拠法令」が書かれていないが、子ども子育て支援法第3条第3項は根拠法ではないか。

行政事業レビュー推進チームの所見

終了
予定

今後、保育所等の利用者負担軽減に係る業務を実施する場合、本システム改修での実績を踏まえて概算要求を行うこととし、事業の実施にあたっては効果的・効率的な実施に努めること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

予
終
了
通
り

今後、保育所等の利用者負担軽減に係る業務を実施する場合、本システム改修での実績を踏まえ、効果的・効率的な事業の実施に努めることとしていた。

備考

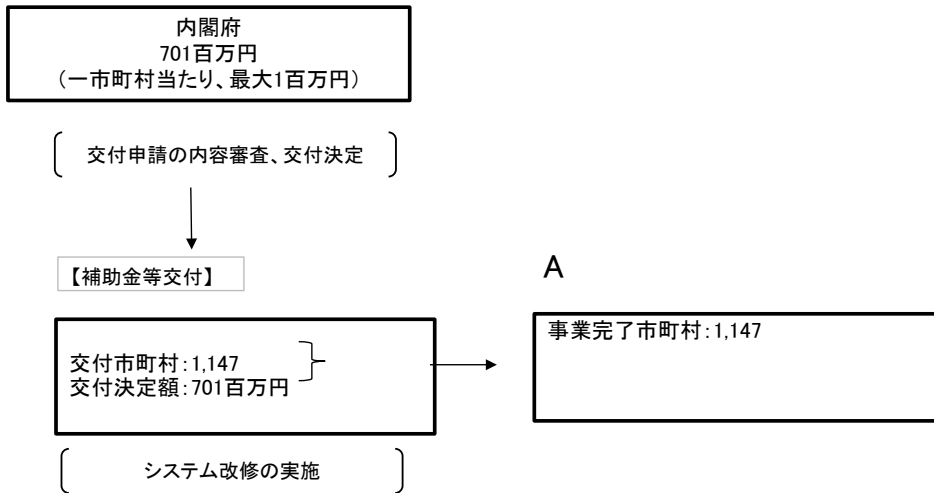
本事業は市町村に実施を義務付けるものではなく、あくまでサービス向上のための補助事業であって、市町村の責務を規定した支援法第3条第3項は根拠法令にはなりません。

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	/
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-	
平成28年度	0110					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補
足する)
(単位: 百万円)



費目・用途 （「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載）	A.夕張市			B.			
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
	システム改修費	制度管理システムの改修	1				
	計		1	計		0	
費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	夕張市	7000020012092	システム改修	1	補助金等交付	-	--	
2	岩見沢市	2000020012106	システム改修	1	補助金等交付	-	--	
3	札幌市	9000020011002	システム改修	1	補助金等交付	-	--	
4	千歳市	2000020012246	システム改修	1	補助金等交付	-	--	
5	恵庭市	4000020012319	システム改修	1	補助金等交付	-	--	
6	函館市	9000020012025	システム改修	1	補助金等交付	-	--	
7	北見市	7000020012084	システム改修	1	補助金等交付	-	--	
8	帯広市	7000020012076	システム改修	1	補助金等交付	-	--	
9	釧路市	7000020012068	システム改修	1	補助金等交付	-	--	
10	青森市	4000020022012	システム改修	1	補助金等交付	-	--	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	